■橋梁補修（措置）の新技術

※Ｒ５．１０．１時点

○本掲載情報は橋梁の「点検・措置（新工法・新材料）」における新技術について、「点検支援技術性能カタログ」及び「ＮＥＴＩＳの有用技術（名称付与技術）」をまとめたものである。
　措置に関する技術　・・・　７６技術（※ＮＥＴＩＳ掲載期間終了技術　６４技術(令和５年１０月現在)）
○表中の注意事項※1～※4
※1「性能カタログ」の位置付けはホームページ記載の「～補足～」のとおり。
※2「ＮＥＴＩＳ（有用な新技術）」の位置付けはホームページ記載の「～補足～」のとおり。
※3「従来技術」とはＮＥＴＩＳ申請者が「国土交通省土木工事標準積算基準」「港湾土木請負工事積算基準」等に記載されている工法から選択しているものであり、表中の他技術との比較ではないことに注意。
　（比較対象技術の詳細はＮＥＴＩＳを参照のこと。）
※4「活用効果調査件数」とはＮＥＴＩＳにおいて活用効果調査票が提出された件数であり、当該技術の総実績件数ではないことに注意。
○当該掲載情報は新技術選定の効率化、選定候補漏れ防止の一助となる様、橋梁保全に関する性能カタログ及びＮＥＴＩＳの有用な技術をとりまとめたものであり、その他の技術利用を妨げるものではない。
最終的な新技術の選定にあたっては各々の橋梁や現場特性を考慮の上、各道路管理者が適正に判断すること。

No.	分類項目	小分類項目	技術名称	新技術開発システム（ＮＥＴＩＳ）												性能カタログ※1		
				掲載 ※NETISサイトに移動します	ＮＥＴＩＳ（有用な新技術）※2				従来技術との比較※3 （※技術開発者の申請情報） ○：従来技術より向上 －：従来技術と同程度 △：従来技術より低下・増加				NETISの 活用効果調査件数※4		NETIS登録番号	掲載 ※性能カタログページに移動します	技術の 性能確認 シート	性能カタログ番号
					推奨技術	準推奨技術	評価促進技術	活用促進技術	経済性	工程	品質	施工性	中国地整	他地整				
1	措置 （新工法・新材料）	コンクリート補修・補強	**無機質けい酸塩系含浸材「ポルトガードプレクサス」** コンクリート表面保護に用いる散水養生不要のけい酸塩系含浸材で、従来は散水養生を必要とするけい酸塩系含浸材で対応していた。本技術の活用によりカリウムの反応促進作用により散水養生が不要となるため、施工性の向上と経済性の向上が得られる。	■				○ H28	○	○	－	○		10件	KT-130065-VE			
2	措置 （新工法・新材料）	コンクリート補修・補強	**コンクリート剥落防止対策ネット工法** メッシュシート（スマートメッシュ）によるコンクリート片のはく落防止対策ネット工法。従来のはつり・断面修復工法に比べ、短期間で経済的に剥落防止が可能となり、施工後にはコンクリート躯体のひび割れ等の損傷状況を目視観察ができる他、容易に部分補修が図れる。	■				○ R1	○	－	－	○	4件	18件	SK-140006-VE			
3	措置 （新工法・新材料）	コンクリート補修・補強	**脂肪族系鉄筋防錆剤「サビラーズ」「ハイサビラーズ」** 本技術は、強靭かつ鉄筋の伸縮に追随する塗膜により、鉄筋に有効な防錆力を発揮させる。従来は、露出鉄筋にポリ塩化ビニル系チューブを被せ、工事再開時に剥がすことで対応していた。本技術の活用により、塗布作業だけの工程で防錆処理作業の短縮が図れる。	■				○ H28	○	○	－	○	10件	568件	KT-150006-VE			
4	措置 （新工法・新材料）	コンクリート補修・補強	**コンクリート剥落防止塗装 ペイントガードCV** アクリルエマルジョンにビニロン繊維及び特殊繊維を配合した塗料を塗布する方式のコンクリート片剥落防止対策工法。従来は、剥落防止工(アラミドメッシュ)で対応していた。本技術の活用により、接着工程の削減が可能で、施工性や経済性の向上が図れる。	■					○	○	－	○	1件	1件	KT-150090-VR			
5	措置 （新工法・新材料）	コンクリート補修・補強	**NCショット** コンクリート構造物の補修補強工事に用いる断面修復材。従来、その細骨材として使用していた天然砂の代わりに、高炉水砕スラグを独自の球形化技術にて加工し、プレミックスモルタル化にした。本技術の活用により耐久性、耐酸性などの品質向上が期待できる。	■				○ R1	－	－	○	○		9件	QS-150001-VE			
6	措置 （新工法・新材料）	コンクリート補修・補強	**コンクリート構造物の断面修復材料「ゴムラテシリーズ」** 超速硬ポリマーセメントモルタルまたはコンクリートにより、劣化損傷したコンクリート構造物の断面修復を行う技術。従来は超速硬コンクリートで対応していた。本技術の活用により、乾燥収縮が小さく、付着性・耐久性に優れた断面修復が可能である。	■				○ R1	○	○	○	○	9件	25件	QS-150017-VE			
7	措置 （新工法・新材料）	コンクリート補修・補強	**KSボンド** 既設構造物とフレッシュコンクリート間に用いる土木用高耐久型エポキシ系接着剤。従来はモルタル・コンクリート塗り継ぎ用エポキシ樹脂系接着剤で対応していた。本技術の活用により接着効果が確実に高くなるため、品質、安全性、経済性の向上が期待できる。	■				○ R2	○	－	○	－		14件	KT-160058-VE			
8	措置 （新工法・新材料）	コンクリート補修・補強	**けい酸塩系表面含浸材CS-21ネオ** 新設コンクリート構造物の表面保護に最適で、施工性が良好な反応型けい酸塩系表面含浸材。施工は清掃後の表面に材料を1回塗布のみで散水は不要。継続的な微細空隙の充填効果により、かぶりを健全に保ち鋼材腐食を抑制。更なる品質向上、耐久性向上、長寿命化に寄与する。	■				○ H30	○	○	○	○		25件	CG-160013-VE			
9	措置 （新工法・新材料）	コンクリート補修・補強	**簡易給水方式による脱塩、再アルカリ化および電着工法(中性化対策)** 本技術は塩害や中性化により劣化したコンクリートを健全な状態に回復できる電気化学的補修工法で、従来は断面修復工法で対応していた。本技術の活用により、既設コンクリートのはつり作業が低減され、施工性の向上と周辺環境への影響抑制が図れる。	■					○	○	○	○			KT-190115-A			
10	措置 （新工法・新材料）	コンクリート補修・補強	**無繊維透明樹脂型コンクリート表面保護・はく落防止工法** コンクリートの表面保護・はく落防止として、繊維シート工法が従来は使用されてきたが、本工法は透明度の高い1成分高強度ウレタン樹脂で構成された工法で、施工後の劣化状況の見える化、2工程、撹拌作業を不要にすることで、工期短縮、人員削減を可能とした。	■					○	○	○	○	2件	8件	CG-190009-VR			
11	措置 （新工法・新材料）	コンクリート補修・補強	**ボンドVMクリア工法** 本技術は、強靭で耐候性に優れる透明なウレアウレタン樹脂を用いたコンクリート片剥落防止工法で、従来はビニロンネットと不透明な樹脂で対応していた。本技術の活用により、下地の視認、工期短縮が可能となり、安全性、経済性の向上が図れる。	■					○	○	△	○	4件	3件	KT-210065-A			
12	措置 （新工法・新材料）	コンクリート補修・補強	**下地視認可能型省工程剥落防止工法　ダイナミックレジン クリアタフレジンクイック** 特殊透明樹脂によりコンクリート片のはく落を防止する技術であり、従来はガラスクロス接着工法で対応していた。本技術の活用により、施工後に下地の劣化状況を目視確認できるため、点検及び維持管理が容易となり、また工程も短縮されているため、経済性も向上する。	■					○	○	－	○			KT-210087-A			
13	措置 （新工法・新材料）	コンクリート補修・補強	**ポリウレア樹脂を用いたコンクリート構造物の機能保持・向上技術「タフネスコート工法」** 本技術は、高架道路伸縮継手の取り換えや床版の表面切削において、低騒音型コンクリート撤去装置を用いた工法で、従来はブレーカーを使用した人力手はつり作業で対応していた。本技術の活用により、低騒音・低振動での施工が可能になるため、周辺環境への影響抑制が図れる。	■					○	○	―	○			QS-210065-A			
14	措置 （新工法・新材料）	コンクリート補修・補強	**コンクリート構造物補修材料EXGリペアシリーズ** 本技術は、補修部分が湿潤状態でも施工が可能な水性エポキシ、水性アクリル製の補修材で、従来は表面被覆工（コンクリート保護塗装CC-B）で対応していた。本技術の活用により補修部分は、湿潤面での乾燥、塩害面での塩分除去洗浄が不要となる為、工程が短縮する。	■					○	○	－	○			KT-220034-A			
15	措置 （新工法・新材料）	コンクリート補修・補強	**コンクリート打放し用の仕上げ材「シェルトクリヤ」** 本技術は、コンクリート構造物の表面を水分や塩分等から保護する水性のクリヤ塗料で、従来は、シラン系表面含浸材で対応していた。本技術の活用により、コンクリートの中性化および塩分の浸透を抑制する効果が高く、低ＶＯＣ材料であるため、品質および安全性の向上が図れる。	■					○	△	○	△			KT-220060-A			
16	措置 （新工法・新材料）	コンクリート補修・補強	**含浸系吸水防止材「ペネトラントシラン」** 本技術は、コンクリート構造物の劣化進行を抑制できる、有機溶剤を含まない無溶剤型のシラン系表面含浸材で、従来は、表面被覆工（コンクリート保護工）で対応していた。本技術の活用により、使用する材料が１種類となり、作業工程を低減できるため、工程の短縮が図れる。	■					○	○	―	○			KT-220204-A			
17	措置 （新工法・新材料）	コンクリート補修・補強	**RFグラウト** 鉄筋コンクリートの断面補修材に塩分浸透を抑制する混和材を添加したポリマーセメントモルタル。従来は、塩分浸透抑制材を含まないポリマーセメントモルタルを用いていた。本技術の活用により、耐塩害性を発揮し鉄筋の防錆効果の更なる向上が図れます。	■					△	―	○	―			KT-220206-A			
18	措置 （新工法・新材料）	コンクリート補修・補強	**ナノシリカ系表面含浸材　コンクリートリバイブ　CPT-2000** 本技術は、ナノシリカ系コンクリート含浸材で、従来はけい酸塩系コンクリート表面含浸材で対応していた。本技術の活用により、含浸剤の塗布前に行う散水作業が不要となるため施工性が向上し工期の短縮が図れる。	■					○	○	○	○			KT-220245-A			
19	措置 （新工法・新材料）	コンクリート補修・補強	**亜硝酸リチウム併用型断面修復工法「リハビリ断面修復工法」** 塩害・中性化によって劣化したコンクリートを亜硝酸リチウムを混入した断面修復材を用いて補修する工法。断面修復材に用いる亜硝酸リチウムがコンクリート中へ浸透拡散し、鉄筋の不動態皮膜を再生することで高い防錆環境を構築する。	■					○	○	○	○			CG-220003-A			
20	措置 （新工法・新材料）	コンクリート補修・補強	**コンクリート用有機系表面保護材「U-レジストクリアコート／ガード」** 本技術は、エポキシ樹脂と強靭なウレタン樹脂を主材料に用い、コンクリートへの劣化因子の侵入防止と、はく落防止の両方が可能となる表面保護技術である。塗膜が透明でメッシュも使用しないため、施工後の構造物の点検が容易で、工期短縮・施工費の削減も可能である。	■					○	○	○	○			CG-220023-A			
21	措置 （新工法・新材料）	コンクリート補修・補強	**道路橋用ダクタルPC床版** 本技術は、鉄筋の代わりに専用の超高強度繊維で補強したコンクリート(ダクタル)を使用した床版で、従来はプレキャストPC床版で対応していた。本技術の活用により部材厚を薄くできることで軽量化となり、既設下部工及び桁の補強低減が可能となるため、施工性の向上が図れる。	■					○	○	○	○			KT-230007-A			
22	措置 （新工法・新材料）	コンクリート補修・補強	**移動式オートチッパー工法** 本技術は、コンクリート床版脆弱部のはつりにおいて、ウォータージェットによる自走式床版はつり機を用いた工法で、従来は、人力はつり作業で対応していた。本技術の活用により、低騒音・低振動での施工が可能となるため、周辺環境への影響抑制が図れる。	■					△	－	○	○			KT-230010-A			
23	措置 （新工法・新材料）	コンクリート補修・補強	**循環式壁面ブラストロボット** 本技術は、既設コンクリートの表面処理ロボットで、従来はウォータージェット工で対応していた。本技術の活用により、ブラストにより表面の均一化が図れ、また、昇降速度により表面粗度が調整できるため付着強度も調整でき、品質の向上が図れる。	■					△	△	○	○			KT-230024-A			
24	措置 （新工法・新材料）	コンクリート補修・補強	**トンネル・橋梁補修・補強用繊維シート接着工法「ガイナSHシートボード工法」** 高目付な特殊積層繊維シートをにセパレータを縫製した特殊積層繊維シートを接着剤で帯板状に接着後、含浸材を塗布してＦＲＰ化させ補強する工法。従来は炭素繊維シートを全面に2層貼りしていたが、本技術は1層で帯板状に設置できるので施工面積が少なくなり、経済性が向上する。	■					○	○	―	―			KT-230046-A			
25	措置 （新工法・新材料）	コンクリート補修・補強	**床版上面薄層増厚補強工法「スラブガード工法」** 本技術は既設コンクリート床版の上面に鋼繊維を配合した超高強度で緻密なモルタルを厚さ20mmの薄層で打設して補強・補修を行う工法で、従来はSFRCによる床版上面増厚工法で対応していた。本技術の活用により高い防水性、遮塩性等を確保できるため、品質の向上が図れる。	■					○	―	○	―			KT-230055-A			

26	措置 （新工法・新材料）	コンクリート補修・補強	**鉄筋腐食抑制型シラン系表面含浸材「アクアシール1400AR」** コンクリート構造物の鉄筋腐食抑制効果を高めたい際に用いるシラン系表面含浸材。従来は鉄筋腐食抑制効果を付与する亜硝酸リチウム水溶液とシラン系表面含浸材の2材料2工程で対応していたが、本技術の活用により材料費や工程数が減少し、経済性の向上が図れる。	■					○	○	－	－			KK-230014-A			
27	措置 （新工法・新材料）	コンクリート補修・補強	**ポリウレア樹脂による剥落防止工法** コンクリート構造物に高強度のポリウレア樹脂を吹付けて剥落を防止する工法。従来は連続繊維シート工法で対応していた。本技術は高強度・高耐久性素材の樹脂を吹き付けることにより、塗り重ねや連続シートの含浸接着の工程が省略でき、工程短縮及び経済性・施工性の向上が図れる。	■					○	○	○	○			KK-230027-A			
28	措置 （新工法・新材料）	コンクリート補修・補強	**CPJ-L（コンパクトジェット－L）** 従来は超速硬コンクリートなどを使用していた。本技術は、断面修復材料として用いる低弾性ラテックス改質超速硬コンクリートで低収縮性と優れた物質浸透抵抗性を有している。道路橋コンクリート床版を始めとするコンクリート構造物の耐久性向上が期待できる。	■					△	△	○	－			CG-230003-A			
29	措置 （新工法・新材料）	コンクリート補修・補強	**浸透性アクリル系樹脂注入材「クラックブロック」** アクリル系樹脂注入材をローラーや刷毛で塗布・浸透させるコンクリート構造物のひび割れ補修工法。従来はエポキシ系樹脂注入材による低圧注入工法で対応していたが、この技術では粘度の低い注入材の塗布作業により、注入に係る作業が削減され、施工性の向上や工程短縮が可能となる。	■					○	○	―	○			QS-230015-A			
30	措置 （新工法・新材料）	防食対策	**金属溶射の塗装工程省力化工法(SIC工法)** 本工法は金属溶射の塗装仕様であり、重防食塗装の技術である。封孔処理と塗装にSICシーラー(無溶剤1液型無機系封孔剤)を使用する。従来は有機溶剤系塗料で対応していた。本工法の活用により、工程の削減、耐久性の向上、環境負荷の低減が期待できる。	■				○ H30	○	○	○	○		6件	TH-140010-VR			
31	措置 （新工法・新材料）	防食対策	**EPP(エコ・ペイント・ピーリング)工法** 水性剥離剤を、橋梁などの塗膜に塗布することで、塗膜を浮き上がらせ除去する工法で、従来はブラスト工法を用いていた。本技術の活用により、塗膜除去時の粉塵と騒音の発生を防止できる。塗膜に有害物質を含む場合は特に有効である。	■				○ R1	○	○	△	－	6件	32件	KT-150081-VE			
32	措置 （新工法・新材料）	防食対策	**循環式ハイブリッドブラストシステム** 橋梁補修補強工等において、鋼構造物の素地調整(1種ケレン)やコンクリート劣化部のチッピングを行う循環式機能付ブラスト工法で、従来は、エアーブラストで対応していた。本技術の活用により、ケレンかすから研削材を吸引再利用できるため、産業廃棄物を削減できる。	■				○ R1	○	○	－	○		11件	QS-150032-VE			
33	措置 （新工法・新材料）	防食対策	**ECO-SCOP工法** 分析用途の塗膜採取の従来技術は、素地調整2種が用いられているが、本技術の採取用具を用いることで、塗膜の採取コスト、作業工程と日数を各段に低減し、塗膜に含む有害物質から作業員の安全と周辺環境の汚染および二次汚染廃棄物の発生が防止できる。	■				○ R2	○	○	○	○		8件	HK-160021-VE			
34	措置 （新工法・新材料）	防食対策	**防錆プライマー「Liq-Fiber」** 本技術は、炭素繊維を含有した無機系防錆プライマーによる防錆塗装で、従来は、エポキシ樹脂系塗料による防錆塗装で対応していた。本技術の活用により、鋼構造物の防錆および鉄筋コンクリート構造物等の防水等に優れた効果を発揮するため、耐久性の向上が図れる。	■					○	○	○	○	3件		KT-170078-A			
35	措置 （新工法・新材料）	防食対策	**サビバリヤー** 鋼材の再塗装時に、残存してしまう赤錆が腐食の進行の原因となっていたが、その赤錆を塗装により黒錆へ転換させることで、長寿命化や工程短縮が可能になる錆転換下塗り塗装技術である。	■					○	○	○	○		10件	CB-170003-VR			
36	措置 （新工法・新材料）	塗装	**ペリカンリムーバー** 本技術は、旧塗膜に塗膜剥離剤を塗布することで、塗膜を軟化・膨潤させて湿潤状態で容易に除去できる塗膜除去工法であり、従来はブラスト工(素地調整程度2種)であった。本技術の活用により、経済性の向上、工程短縮、周辺環境への影響抑制が期待できる。	■				○ R5	○	○	－	－	3件	12件	KK-170037-VE			
37	措置 （新工法・新材料）	防食対策	**鋼構造物を主体とした長耐久性防水・防食工法** 鋼構造物(主に橋梁添接部の突起部、支承部)の長耐久性の防水・防食工法。対象個所は3種ケレン程度で十分で、その上に当該テープを貼付、巻付けるだけの簡易施工である。従来の塗装工法に比べ本技術の活用により、工期短縮、経済性・耐久性の向上が図れる。	■					○	○	○	○		3件	SK-180017-A			
38	措置 （新工法・新材料）	防食対策	**鋼橋の小規模補修用省工程塗料「超厚膜無溶剤系セラミックエポキシ樹脂塗料」（ブラッシャブル-エス）** 鋼橋塗装工（局部補修）に関する技術。狭隘部またはブラストが使えない腐食損傷箇所の部分的な塗替え塗料で、従来は下塗りと中塗り4層、施工日数が4日以上必要であったが、下塗りと中塗りを合わせて1層での厚膜塗装が可能となり、工程短縮が期待できる。	■					○	○	－	○		2件	QS-200011-A			
39	措置 （新工法・新材料）	防食対策	**ＮＳアンチラストフィルム** 鋼構造物の塗装面に貼付けて防錆するふっ素系塗装保護フィルム。従来は、増塗り塗装で対応していた。本技術の活用により、塗装における弱点箇所の防食性・耐候性が向上し、鋼構造物の長寿命化が可能となるため、耐久性、施工性の向上および工程の短縮が図れる。	■					△	○	○	○			HK-210006-A			
40	措置 （新工法・新材料）	防食対策	**IH塗膜剥離機（メクレル）** 誘導加熱の原理を採用したケレン工による塗膜剥離を行う技術であり、従来は素地調整前の塗膜剥離による。本技術の活用により、人力による塗膜剥離が可能となる結果、ブラスト研削材の不使用による粉塵飛散の予防、剥離後の塗膜回収作業の効率化が期待される。	■					○	△	－	○			KT-210089-A			
41	措置 （新工法・新材料）	防食対策 塗装	**中性型水系剥離剤ECO「STRIPPER」** 本技術は中性型の水系ECOタイプの剥離剤のため生態影響が少なく安全配慮された工法であり、従来技術は高級アルコール系剥離剤を使用していた。本技術の活用により鋼構造物及びコンクリート構造物の旧塗膜を湿潤化させ効率よく安全に塗膜除去ができるため経済性が向上する。	■					○	－	○	○	1件		CB-210014-A			
42	措置 （新工法・新材料）	塗装	**1液型無機厚膜防錆塗料「EKワンZ」** 本技術は、鋼構造物に素地調整後塗布することで亜鉛・アルミの犠牲陽極反応により、腐食を防ぐ重防食用被覆剤の製品技術であり、従来は溶融亜鉛めっき（JIS H 8641 HDZ55）利用していた。本技術の活用により長期防食による品質、施工性向上、周辺環境への影響抑制が期待できる。	■					○	△	○	○			KK-210051-A			
43	措置 （新工法・新材料）	防食対策	**長期耐候性 錆転換防食塗装システム 「DeCK」** 本技術は、鋼構造物の塗替え塗装に関する技術である。専用のエポキシ樹脂プライマーにより発錆リスクである赤錆を黒錆に転換し防食することができ、さらに超厚膜形のふっ素樹脂塗料を塗り重ねることで、長期耐候性も期待できる為、ライフサイクルコストの縮減が可能である。	■					△	○	○	○			QS-210056-A			
44	措置 （新工法・新材料）	塗装	**ハンドミストジェット工法** 本技術は、ウォータージェット技術を応用してコンクリート・鋼構造物の旧塗膜及び錆等の除去を行う技術であり、従来はサンダーケレンで対応していた。本技術の活用により、周辺環境への影響を抑制でき、機械化による施工品質の向上が図れる。	■					△	○	○	○			KT-220012-A			
45	措置 （新工法・新材料）	防食対策	**高耐候性タッチアップ用シール材（RACタッチ）** 本技術は、鋼構造物部分補修用の耐候性フッ素樹脂フィルムと特殊粘着剤の一体化シールで、従来は塗替え塗装で対応していた。本技術の活用により、シールを貼付するだけで施工が完了するため、施工費が低減し経済性の向上と工程短縮が図れる。	■					○	○	―	○			KT-220027-A			
46	措置 （新工法・新材料）	防食対策 塗装	**アクアシールドスプレー** 本技術は、水系さび止め塗料をエアゾール化した水系防錆スプレーで、従来は刷毛塗りで対応していた。本技術の活用により塗装準備（計量、撹拌作業、刷毛洗浄作業等）が省略でき、塗装作業も容易となるため、施工性の向上が図れる。	■					○	○	―	○			KT-220041-A			
47	措置 （新工法・新材料）	防食対策 塗装	**ロック水系ハクリ工法** 本技術は、橋梁などの鋼構造物の既存塗膜をロックリムーバーAQを使用して剥離する湿式剥離工法で、従来は乾式ブラスト工法で対応していた。本技術の活用により、粉塵抑制や有害物質の飛散抑制、研削材の産業廃棄物の発生抑制が図れる。	■					○	○	△	○			KT-220082-A			
48	措置 （新工法・新材料）	塗装	**シリコーン樹脂を用いた「バッファーコート」工法** 本技術は、鋼橋やコンクリート構造物の防食および表面保護を行うシリコーン樹脂のコーティング工法で、従来は、塗替塗装（C-5系(重防食塗装)）で対応していた。本技術の活用により、3層の塗膜層でも40年以上の長期耐久性が確保できるため、品質および経済性の向上が図れる。	■					○	○	○	△			KT-220094-A			
49	措置 （新工法・新材料）	防食対策 塗装	**M-CSCシステム** 本技術は、鋼構造物の塗替え塗装における防錆塗装技術で、従来は主に、ジンクリッチペイントで対応していた。本技術の活用により、劣化因子である塩化物イオンを吸着・固定し、塗膜の再劣化を防止できるため、塗膜の長期防錆性（品質）の向上が図れる。	■					○	○	○	―			KT-220111-A			
50	措置 （新工法・新材料）	防食対策 塗装	**特化則、有機則に抵触しない水性防錆スプレー（水性サビナー）** 本技術は、労働安全衛生法の特化則、有機則に抵触しない水性塗料をエアゾール化したスプレーで、従来は、有機溶剤防錆スプレーで対応していた。本技術の活用により、使用が制限されていた閉鎖空間で活用でき、作業員や周辺環境への影響も少なく、安全に防錆工が可能になる。	■					○	○	―	○			KT-220177-A			
51	措置 （新工法・新材料）	防食対策 塗装	**ソルティガードシステム工法** 本技術は、特殊な変性エポキシ樹脂下塗塗料と耐塩害用厚膜系ふっ素樹脂上塗塗料を組合せた塩害対策塗装工法で、従来は塗替塗装(Rc－Ⅰ系)で対応していた。本技術の活用により、3層でも1度の施工で40年以上の長期耐久性を確保することが可能となるため、品質の向上が図れる。	■					△	○	○	―			KT-220199-A			
52	措置 （新工法・新材料）	防食対策 塗装	**塩分除去洗浄による戻り錆び対策工法** 本技術は、鋼表面の付着残存塩分を高圧水洗浄で除去する時に発生する戻り錆びを抑制する工法であり、従来技術は錆び清掃用乾式2次ブラスト工法で対応する。本技術の活用により気化水溶性防錆剤を希釈添加した水洗浄が2次ブラスト工程を省略し、品質確保が期待できる。	■					○	○	―	―			CB-220006-A			
53	措置 （新工法・新材料）	防食対策 塗装	**FAITH21　ADVANCE（防錆水性コート材）** 本技術は、炭素繊維を含有した無機系防錆プライマーによる防錆塗装で、従来はエポキシ樹脂系塗料等による防錆塗装で対応していた。本技術の活用により鋼構造物の防錆および鉄筋コンクリート構造物等の防水等に優れた効果を発揮するため、耐久性の向上が図れる。	■					○	○	○	○			CB-220015-A			
54	措置 （新工法・新材料）	防食対策 塗装	**クリスタルジュエリー工法** 本技術は、耐塩害性に優れた防食処理をする工法であり、従来技術は支承金属溶射工で対応をしていた。 本技術の活用により支承、添接部、隙間等の鋼材防錆処理の他に、ゴムのオゾン劣化抑制やコンクリートの中性化予防が可能であり経済性、施工性、品質、可視化等が向上する。	■					○	○	○	○			CB-220023-A			
55	措置 （新工法・新材料）	防食対策 塗装	**循環式オープンブラスト工法** 本技術は、高圧縮空気（1.0Mpa）で運転し、研削材の循環再利用を可能としたブラスト工法であり、従来技術は一般的なブラスト工法であった。本技術活用により遠距離施工が可能で、研削材の循環再利用する事で産業廃棄物発生量の削減ができ、経済性や工期短縮が期待できる。	■					○	○	－	○			CB-220034-A			
56	措置 （新工法・新材料）	塗装	**擦らず落とす錆取り剤「ハイスペックウォーター＆ジェル」** 本技術は鉄・アルミ・ステンレスに発生した錆を除去する技術であり、技術の成立性は施工実績及び実証実験で確認されている。	■					○	○	－	○			KK-220053-A			

57	措置 （新工法・新材料）	防食対策	**セレクトコートさび鉄構造物リニューアル工法** 本技術は赤錆を黒錆転換・不働態被膜化し、化学的な除錆と防錆を行う技術であり、層状等の浮きサビのみを除錆処理する簡易な素地調整で塗替塗装等が可能。従来はブラスト等で錆を完全除去していたが、本技術の活用により所要防錆性確保の低コスト化、工期短縮が期待できる。	■					○	○	○	○		1件	SK-220006-A			
58	措置 （新工法・新材料）	防食対策 塗装	**循環式ブラスト工法** 耐摩耗性及び靭性の高い研削材を使用し、同材の循環再利用が可能なブラスト技術。従来の非循環型エアーブラスト工法と比べ、本技術は耐摩耗性等の向上により研削材が破損しにくくなると同時に、鋼材表面に突き刺さりのない塗膜形成が可能となり、錆の発生防止が図れる。	■					○	○	○	－			KT-230028-A			
59	措置 （新工法・新材料）	防食対策 塗装	**水系中性剥離剤による湿式塗膜剥離回収工法「ＰＳリムーバー工法」** 水系中性剥離剤のシャワー状の連続吹付、高圧洗浄及び洗浄水回収システムの採用により、既存塗膜の回収を行う工法。従来の刷毛やローラー工具を使用して水系酸性剥離剤を塗布する剥離工法と比較して鋼材形状に制約されにくく、塗膜除去作業の効率化、安全性の向上が図れる。	■					○	○	－	○			KT-230075-A			
60	措置 （新工法・新材料）	塗装	**回転式レーザー素地調整工法（CoolLaser工法）** 高出力の連続波レーザーを高速回転させて照射することで、鋼構造物のサビ、塗膜と腐食の要因となる塩分を除去できる素地調整工法。従来技術は残留塩分に課題があったが、本技術では塗膜再劣化が抑制でき、鋼構造物の長寿命化とライフサイクルコスト軽減が期待できる。	■					△	△	○	○			CB-230005-A			
61	措置 （新工法・新材料）	防食対策 塗装	**環境配慮型塗膜剥離剤「ペイントール」** 本技術は、鋼構造物の既存塗膜を湿潤膨潤させ剥離する技術である。従来は、高級アルコール系剥離剤で対応していた。本技術は、安全性が高く健康被害を抑えることができるため、環境負荷軽減による地球環境への影響抑制、施工性の向上が期待できる。	■					○	－	－	○			KK-230004-A			
62	措置 （新工法・新材料）	防食対策 塗装	**透明ボルトキャップ（シェルポンズ）** 誰でも簡単に設置できる鋼橋の高力ボルト用防錆キャップで、落下時のフェイルセーフとして連結ワイヤーでキャップ同士をつなげている。従来のキャップは樹脂接着のため施工に時間がかかっていたが、本技術の活用により特殊作業の削減、キャップ落下の危険性低減が期待できる。	■					○	○	－	○			SK-230003-A			
63	措置 （新工法・新材料）	防食対策 路面切削	**エコクリーン超耐摩耗吸引ホース** 本技術は、循環式ブラスト工法で使用する吸引用ホースであり、従来技術は、鋼芯入り吸引ホースで対応していた。本技術の活用により、耐摩耗性が向上しホース破損による塗膜クズの飛散事故発生リスクが減少し、安全性と周辺環境が向上することが期待される。	■					○	－	－	○			CB-230002-A			
64	措置 （新工法・新材料）	防食対策 塗装	**タイタンコート防錆塗装工法** 本技術は鋼構造物の塗替えにおいて発錆を抑制する防食工法であり、従来はＲｃ－Ｉ塗装系で対応していた。本技術の活用により、錆転換機能を持つ防錆層および無機成分の厚膜の保護層で再腐食を抑え、重塩害環境においてもコストを抑えながら鋼構造物の長寿命化が図れる。	■					○	○	○	○			KK-230037-A			
65	措置 （新工法・新材料）	表面保護	**ハンドミストジェット工法** 本技術は、ウォータージェット技術を応用してコンクリート・鋼構造物の旧塗膜及び錆等の除去を行う技術であり、従来はサンダーケレンで対応していた。本技術の活用により、周辺環境への影響を抑制でき、機械化による施工品質の向上が図れる。	■					△	○	○	○			KT-220012-A			
66	措置 （新工法・新材料）	その他 塗装	**エコクリーンクールスーツ** 本技術は、夏季の密閉された足場内で有害塗膜除去のブラスト作業時に使用する熱中症対策の装備として、又特定粉じん作業における有効な呼吸用保護具(送気マスク)として使用できる。従来は、化学防護服と電動ファン付呼吸用保護具を着用の為熱中症になる危険性があった。	■	○ R5			○ R4	○	○	－	－		12件	CB-190009-VE			
67	措置 （新工法・新材料）	その他 塗装	**ツインノズルのリサイクルブラスト工法** 本技術は、ツインノズルのリサイクルブラスト工法で、従来は、シングルノズルで対応していた。本技術の活用により、施工速度が速くなり、施工性の向上が図れる。	■					○	○	―	○			KT-230009-A			
68	措置 （新工法・新材料）	排水装置	**橋梁用埋設型排水桝** コンクリート床版上の雨水を排水するための床版排水用の雨水桝。 伸縮装置取り換え工事と同時に設置を行い、遊間を利用して排水する技術で、コアドリルによる削孔作業が不要なため施工が早いのが最大の特徴。	■		○ R1		○ H30	○	○	－	○		11件	HK-140002-VE			
69	措置 （新工法・新材料）	その他	**エコクリーンハイブリッド工法** 本技術は循環式ブラスト工法の資機材を用いて、既設橋梁溶接部にショットピーニングを施す技術であり、投射時間や圧力管理による施工管理や蛍光塗料とカバレージチェッカーを用いることによる出来形管理方法を確立し、既設橋梁での対応を可能とした技術である。	■					○	○	○	○		4件	CB-180024-A			
70	措置 （新工法・新材料）	その他	**オートチッパー工法** 高架道路伸縮継手の取り換えや床版の表面切削において、低騒音型コンクリート撤去装置を用いた工法。従来はブレーカーを使用した人力手はつり作業で対応していた。本技術の活用により、低騒音・低振動での施工が可能になるため、周辺環境への影響抑制が図れる。	■					△	―	○	○			KT-210057-A			
71	措置 （新工法・新材料）	その他	**ICR処理工法** 本技術は、鋼構造物に発生した疲労き裂の補修工法であり、当該箇所の補修には従来では当て板工法等による補修で対応されてきたが、ICR処理工法を用いることにより従来工法と比較して安全かつ経済的に鋼構造物の疲労き裂の補修を行うことができる。	■					○	○	－	○			CB-210010-A			
72	措置 （新工法・新材料）	その他	**合いマーク用マーカー　消えま線** 本技術は、屋外で5年相当後も消えない合いマーク用マーカーであり、従来技術は1年後の点検時に書いた合いマークが消え、ボルトのゆるみ確認には工具による打音検査や合いマークの再施工を 必要とした。本技術により、それら確認が必要とされないため経済性が向上する。	■					○	○	○	○	3件	35件	CB-220008-A			
73	措置 （新工法・新材料）	その他	**GGRW工法** 本技術は従来のアスファルト加熱型塗膜系防水層の間に補強材の高強度ガラスグリッドを積層した床版補強防水の工法技術であり、従来はアスファルト加熱型塗膜系防水工法であった。本技術の活用により防水層の長期耐久・防水性による品質の向上が期待できる	■					△	△	○	△			KK-220072-A			
74	措置 （新工法・新材料）	その他	**ライトレックスS** 本技術は、橋梁伸縮装置等の劣化損傷した既設止水材を除去し、連続気泡止水フォームで構成された止水材を新たに設置するものであり、従来は弾性シール材を充填することで対応していた。本技術の活用により、適用遊間幅の拡大や施工費・産業廃棄物量の低減が図れる。	■					△	－	○	○			KK-230035-A			
75	措置 （新工法・新材料）	その他	**車両突入阻止バリケード 「HERCULES ヘラクレス」（小型タイプ）** 通行車両が誤って作業域に突入した時に車両を最短で強制的に停止できる技術であり、従来はクッションドラムで対応していた。本技術の活用により現場作業員の安全と安心を確保し、運搬時の軽量化と設置の容易化が図れる。	■					○	○	○	○			HK-230005-A			
76	措置 （新工法・新材料）	その他	**MWTスタッド工法** 対象部材を設置する際、従来はアーク溶接工法を用いて設置していたが、MWTスタッド工法は ヒューム、スパッタの発生が少なく、ガンのトリガーを引くだけで一定の品質を確保できる技術である。また、ガンの改良によって、狭い空間で施工が可能である。	■					○	―	―	○			KK-230016-A			

【NETIS掲載期間終了技術】※掲載期間が終了しており、NETISでは閲覧できません。

77	措置 （新工法・新材料）	コンクリート 補修・補強	**CS-21ひび割れ補修セット** ひび割れの補修を、無機系の①CS-21クリアー、②CSパテのセットにおいて、ひび割れに塗布+擦込む簡便な工法によりひび割れ自閉効果と空隙の充填を可能とした。ひび割れからの劣化因子の侵入を防ぎコンクリートの耐久性向上と美観等に寄与する技術。【掲載期間終了】					○	○	○	－	○	1件	6件	CG-110003-VE			
78	措置 （新工法・新材料）	コンクリート 補修・補強	**eプレート工法** 本技術は、CFRPプレート(以下「eプレート」)による鋼、コンクリート構造物の曲げ補強工法で、従来は鋼板接着工法で対応していた。本技術の活用により、鋼材腐食の心配が無く、死荷重の増加がほとんど無くなるため、構造物の品質及び耐久性が向上する。【掲載期間終了】					○	○	○	○	○	1件	18件	KT-110058-VR			
79	措置 （新工法・新材料）	コンクリート 補修・補強	**スーパーホゼン式工法** 耐荷力性能不足が懸念される道路橋床版等に対して、車両規制を行わず下面から補強網鉄筋を圧着固定し、床版の振動・衝撃を緩和しながらポリマーセメントモルタルでの増厚及びエポキシ樹脂の注入を施し、既設床版と完全一体化させ耐荷力を向上し長寿命化する技術。【掲載期間終了】					○	○	○	－	○	5件	6件	CG-110038-VR			
80	措置 （新工法・新材料）	コンクリート 補修・補強	**ボンドKEEPメンテ工法VM-3** 変性ポリウレア樹脂による、柔軟性に富み、広い施工可能温度領域を有するコンクリート片はく落対策工法。従来は、当該箇所をハツリ撤去後、モルタル等で断面復旧していた。本技術では下地のひび割れや変形に追従性を確保し、通年での施工が可能となった。【掲載期間終了】					○	○	○	○	○	1件	15件	SK-110012-VR			
81	措置 （新工法・新材料）	コンクリート 補修・補強	**クリアクロス工法** 含浸による透明な特殊ビニロンクロスを用いたコンクリート剥落防止工法で、従来は、はつり工+モルタル復旧工で対応していた。本技術の活用により、はつり作業が不要となり、産業廃棄物が低減し、騒音が発生せず、経済性の向上、周辺環境への影響抑制となる。【掲載期間終了】					○	○	○	－	○		17件	KT-110052-VE			
82	措置 （新工法・新材料）	コンクリート 補修・補強	**フォルカストランドシート工法** 炭素繊維などをエポキシ樹脂で棒状に硬化し、一方向に配列させすだれ状に加工した強化繊維シート「ストランドシート」を、エポキシ樹脂等の常温硬化型接着剤を用いて貼り付ける工法。従来より安価で短期間にコンクリート構造物の補修・補強が可能。【掲載期間終了】					○	○	○	○	○	4件	17件	QS-080011-VG			
83	措置 （新工法・新材料）	コンクリート 補修・補強	**高粘性浸透性吸水防止材** コンクリート構造物等に高粘性浸透性吸水防止材(シラン系表面含浸材)を使用する表面保護工法。従来は表面被覆工法で対応していた。本技術の活用により、コスト縮減、塩害に対する耐久性の向上が期待できる。また鉄筋の腐食抑制効果も確認された。【掲載期間終了】					○	○	○	○	○		5件	KT-060094-VG			
84	措置 （新工法・新材料）	コンクリート 補修・補強	**CABOCON工法(カボコン工法)** 炭素繊維集成板(以下、CCFPと示す;Consolidated Carbon Fiber Plate)を接着剤(Bond)にて、構造物に接合(Connect)することで、補修・補強を行う工法。【掲載期間終了】					○	△	○	○	○		6件	KK-050085-VG			
85	措置 （新工法・新材料）	コンクリート 補修・補強	**ショーボンドハイブリッドシート工法** 本技術は、予め工場で製作された特殊ラミネートシートを現場で一層貼り付ける工法で、従来工法の現場積層型の工法に比べて施工工程の削減と品質の向上等を実現した。【掲載期間終了】					○	○	○	○	○	7件	88件	TH-010017-VG			
86	措置 （新工法・新材料）	コンクリート 補修・補強	**床版上面増厚工法** 既設コンクリート床版上面の上に新しいコンクリートを打継ぎ、新旧コンクリートを付着一体化させる工法で、従来は床版打換工法で対応していた。本技術の活用により工程の短縮・既設床版コンクリートの撤去処分費用の削減などによるコスト縮減効果が期待できる。【掲載期間終了】					○	○	○	－	○	2件	6件	KT-010135-VG			
87	措置 （新工法・新材料）	コンクリート 補修・補強	**トレカクロスG工法** コンクリート構造物に炭素繊維シートを接着する工法で、従来は鋼板接着工法を使用していた。 本技術の活用により、樹脂含浸の施工管理が容易となり、適正樹脂量の確認及び作業時間の適正化が図られ、コスト縮減・工期短縮・施工品質の向上が図られる。【掲載期間終了】					○	○	○	○	○		6件	KT-090053-VG			

88	措置 （新工法・新材料）	コンクリート 補修・補強	**コンクリートひび割れ低減用ネット「ハイパーネット60」** コンクリート構造物に発生するひび割れを抑制する技術で、従来にない技術である。本技術の活用により、耐久性に大きく影響する幅の広いひび割れの発生を抑制することにより、コンクリート構造物の品質の向上が期待される。 【掲載期間終了】					○	△	△	○	△	83件	769件	SK-080003-VG			
89	措置 （新工法・新材料）	コンクリート 補修・補強	**省力施工型コンクリート改質・劣化防止剤「リアル・メンテ」** 本技術は省力施工型コンクリート改質・劣化防止剤「リアル・メンテ」で、従来はケイ酸塩系表面含浸材により対応していた。本技術の活用により散水養生不要による適正なケイ酸塩濃度が含浸し維持される事で中性化抑止効果を発揮し、品質が向上する。 【掲載期間終了】					○	○	○	○	○	2件	24件	KT-080018-VG			
90	措置 （新工法・新材料）	コンクリート 補修・補強	**紙チューブ式無機系接着アンカー工法** コンクリート母材にカプセルを挿入し、特殊アンカーボルト(L型・コ型・完全埋込筋)を打撃のみで固着する無機系アンカー工法である。従来は注入・エアー抜きパイプをシールして硬化後、樹脂注入を行っていた。本技術により工期短縮とコスト縮減が期待出来る。 【掲載期間終了】					○	○	○	○	○	2件	17件	KT-070103-VG			
91	措置 （新工法・新材料）	コンクリート 補修・補強	**無溶剤タイプジェル状シラン系表面含浸材** シラン系表面含浸材によるコンクリート保護に関する技術で、従来は表面被覆材で対応していた。本技術の活用によりコンクリート構造物を簡便に、低コストで、長期間水や塩分などの劣化因子から保護し、コンクリート構造物の耐久性向上と景観維持が期待できる。 【掲載期間終了】					○	○	○	－	○	18件	198件	KT-070047-VG			
92	措置 （新工法・新材料）	コンクリート 補修・補強	**FORCA(フォルカ)トウメッシュ工法** 耐久性に優れた FRP メッシュ をコンクリートアンカーで固定するだけの簡単な剥落防止工法。接着剤やモルタルを使用しないので下地処理や導水・止水処理が不要で、結露、漏水のあるトンネルでも施工可能である。また、従来工法に比べ早く施工できる。 【掲載期間終了】		○ H26				○	○	－	○	27件	49件	KK-060042-VG			
93	措置 （新工法・新材料）	コンクリート 補修・補強	**鉄筋腐食抑制工法 「プロテクトシル CIT」** プロテクトシルCITは、含浸系表面保護材で、コンクリート表面に塗布する事によりコンクリート中の鉄筋の腐食電流を低減し鉄筋の腐食抑制する。 【掲載期間終了】					○	○	○	○	○	22件	118件	HR-060004-VE			
94	措置 （新工法・新材料）	コンクリート 補修・補強	**アルファー・ゾル-G注入工法** この工法は、水の接するコンクリートの打設部・ひび割れ・コールドジョイント・セパレーター等、施工後に発生した漏水補修に適用する。 【掲載期間終了】					○	△	○	○	○	3件	37件	SK-050009-VG			
95	措置 （新工法・新材料）	コンクリート 補修・補強	**Stコン（エステーコン）** 本技術は コンクリート構造物のPコーン跡に穴埋めをする 新しい材料と方法で、従来は モルタルを押し込み円いコテで仕上げていた。 本技術の活用により 誰でも 簡単に 速く 確実に しかも 均一に 綺麗に 施工する事が出来る。 【掲載期間終了】					○	○	○	○	○	30件	270件	KT-050007-VG			
96	措置 （新工法・新材料）	コンクリート 補修・補強	**高分子系浸透性防水材 アイゾールEX** 撥水効果・コンクリートの表面改質効果を併せ持つ表面被覆材(透湿性を有する水性ー液型塗料)が、コンクリートの劣化を抑制する。 【掲載期間終了】			○ H24			○	○	○	○	22件	43件	CB-030003-VG			
97	措置 （新工法・新材料）	コンクリート 補修・補強	**コンクリート構造物の断面修復乾式吹付け工法** ポリマーセメントモルタル乾式吹付工法はコンクリート構造物の断面修復や補強を独自のサイロシステムを用いて、短期間に施工する優れた工法である。 【掲載期間終了】					○	○	○	○	○	3件	11件	CB-020040-VG			
98	措置 （新工法・新材料）	コンクリート 補修・補強	**二方向アラミドシート補修・補強工法** 二方向アラミドシート工法は、わが国で250件程度の施工実績があり、構造物の耐力の向上を図るとともに疲労による劣化を抑制し、構造体の寿命を延命させることができる。【掲載期間終了】					○	○	○	○	○	2件	21件	CB-000024-VG			
99	措置 （新工法・新材料）	コンクリート 補修・補強	**FRPグリッド増厚・巻立て工法** 補強材であるFRPグリッドを、ポリマーセメントモルタルを使用して既設コンクリート構造物と一体化し補修・補強する技術で、従来は、薄鋼板をアンカーボルトにより取付け、エポキシ樹脂注入で既設コンクリート構造物と一体化し補修・補強する技術であった。 【掲載期間終了】					○	○	○	－	○	2件	24件	CG-000009-VG			
100	措置 （新工法・新材料）	コンクリート 補修・補強	**フォルカトウシート工法** カーボン、アラミドなどの高性能連続強化繊維を一方向に配列させた「トウシート」を、エポキシ樹脂等の常温硬化型接着剤を用いてコンクリート構造物の表面に貼り付けるだけの、施工性に優れた工法。【掲載期間終了】					○	○	○	－	○	12件	72件	QS-990014-VG			
101	措置 （新工法・新材料）	コンクリート 補修・補強	**Qマット** コンクリート構造物の湿潤・保温養生材で、従来は、散水養生、スポンジタイプ等の養生マットによる湿潤養生とヒーターによる給熱養生で対応していた。本技術の活用により、保湿性と保温性の向上が期待できる。 【掲載期間終了】					○	○	○	○	○	277件	684件	KT-980368-VG			
102	措置 （新工法・新材料）	塗装	**アースコート防錆-塗装システム** 表面処理と防錆塗装を組み合わせた塗装システム。従来は一般重防錆防食塗装により施工していたが、本技術の活用により防食性と密着性が向上し、塗り替え期間の延長が可能になった。 【掲載期間終了】					○	○	○	○	○	9件	8件	KK-110056-VR			
103	措置 （新工法・新材料）	塗装	**ブラスト面(素地調整1種)を形成できるハンディ動力工具『ブリストルブラスター』** 鋼構造物の塗装前の素地調整において、ブラスト処理のような大型の機材や装置および研削材を使用せずにブラスト処理と同等の素地調整1種が得られるハンディな動力工具。 【掲載期間終了】					○	○	△	－	△	6件	109件	CG-110021-VE			
104	措置 （新工法・新材料）	塗装	**エポガードシステム** 長期に安全な鉄鋼面の防食システムを目的とした、腐食した鉄鋼部分をケレン後腐食した赤錆(ヘマタイト→Fe(OH)2.Fe(OH)3.FeOOH)を安定な黒錆(マグネタイト→Fe3.O4)に転換し、その上に用途に応じた塗料を塗装することにより長期にわたり防食し延命させる技術。 【掲載期間終了】					○	○	○	○	○	12件	100件	CB-080011-VG			
105	措置 （新工法・新材料）	塗装	**タフガードQ-R工法** 中塗りの強靭な塗膜特性及び塗装システムの速硬性により、従来の補強材工程の省略を可能にし、大幅な工期短縮とそれに伴う工事コスト低減を実現した。また、無溶剤系の中塗り設計によりコテ塗りを可能とし施工性と環境へ配慮した。 【掲載期間終了】					○	○	○	○	○	2件	78件	KK-040054-VG			
106	措置 （新工法・新材料）	塗装	**常温金属溶射システム（MS工法）** 本技術は、鋼構造物に対して防錆・防食をする技術であり、従来は塗装、溶融亜鉛メッキ、溶射(フレーム溶射)などにより対応していた。本技術の活用により、耐久性の向上によるコスト縮減や設備の軽量化により作業環境に左右されない施工性が期待できる 【掲載期間終了】					○	○	－	○	○	6件	67件	TH-030026-VG			
107	措置 （新工法・新材料）	塗装	**Cold Galvanizing ローバル工法** 従来防食技術である溶融亜鉛めっきに見られるような鋼材の寸法・形状、施工場所の制限を受けることなく、工場及び現場施工に於ける常温での塗装により、溶融亜鉛めっきと同等の防食性能を有する塗膜を形成する技術。【掲載期間終了】					○	○	－	○	○	10件	32件	KK-090014-VG			
108	措置 （新工法・新材料）	塗装	**インバイロワン工法** 本技術は、鉛・クロム等の有害物質を含む塗膜を除去して現場で重防食塗装が可能な素地を得る工法で、従来はブラスト工法で対応していた。本技術の活用により、塗膜ダストが発生しないため、飛散防止対策の簡略化、既存塗膜の確実・容易な除去・回収が期待できる。 【掲載期間終了】		○ H27				○	○	－	○	3件	40件	KT-060135-VG			
109	措置 （新工法・新材料）	塗装	**バキュームブラスト工法** 飛散防止型サンドブラスト工法は、コンクリート表面をバキュームしながら下地処理を施工する為、研削材や粉塵等の飛散が無く又回収した研削材は、再利用するので発生材の処分量も少なくてすみ、人力で目視しながら作業を行うので、必要以上に躯体を傷めない。 【掲載期間終了】					○	○	○	－	○	9件	165件	CB-050049-VG			
110	措置 （新工法・新材料）	耐震	**BM-Sダンパー** BM-Sダンパーを橋に取り付けることにより、特定の下部構造に上部構造慣性力を直接誘導(バイパス効果)すると共に、ダンパーの履歴減衰により慣性力が低減され、橋全体としての耐震性を低コストで実現することができる。 【掲載期間終了】					○	○	○	○	－		53件	QS-060010-VG			
111	措置 （新工法・新材料）	耐震	**変位制限機能付落橋防止ケーブル** 耐震補強システムである変位制限装置と落橋防止装置の両機能を一つにした、ケーブルタイプの新落橋防止システム。橋梁の全ての構造(鋼橋、PC橋、RC橋等)に適用でき、また既設橋の補修・補強工事だけでなく、新設橋にも使用可能。 【掲載期間終了】					○	○	○	－	○	3件	3件	CB-040009-VG			
112	措置 （新工法・新材料）	耐震	**Kui Taishin-SSP工法** 本技術は、パイルベント基礎に対して鋼板を圧入にて巻き立てし補強する工法で、従来は増し杭フーチング方式等で対応していた。本技術の活用により、短期間、低コストで耐震性能の向上が期待できる。【掲載期間終了】			○ H24			○	○	－	○	2件	4件	KT-000101-VG			
113	措置 （新工法・新材料）	鋼構造物 補修・補強	**超音波ピーニング処理(UIT)工法** 溶接継手の溶接止端部に超音波ピーニング処理(UIT)を施し、溶接構造物の疲労強度を向上させる工法。 ・先端に曲率を持ったピンを超音波加振させ対象箇所を打撃する。 ・従来技術に比べて、高速でかつ簡便に処理が可能で高い品質安定性が得られる。 【掲載期間終了】		○ H26				○	○	○	○	3件	28件	KTK-070004-VG			
114	措置 （新工法・新材料）	鋼構造物 補修・補強	**紫外線硬化型ガラス繊維強化プラスチックシートによる照明柱根元防食及び道路構造物腐食部補修** 従来の補修・予防保全方法とは全く異なる画期的な新技術です。ウルトラパッチとはゴムのように柔らかく、紫外線(太陽光)に触れることにより強力に接着しながら硬化する紫外線硬化型FRPシートのことです。腐食補修、予防保全に最適です。 【掲載期間終了】					○	○	○	○	○	17件	200件	CB-990022-VG			
115	措置 （新工法・新材料）	排水装置	**高気密ステンレス排水管** ステンレス特殊スパイラル管を用いた軽量で耐圧性に優れた橋梁用排水管。【掲載期間終了】					○	○	○	○	○		66件	CB-980013-VG			
116	措置 （新工法・新材料）	伸縮装置	**フィンガージョイント用大型乾式止水材** CRゴムと連続発泡体を用いて一体成型した乾式止水材である。本技術の活用により、大遊間フィンガージョイントに対応ができるようになる 【掲載期間終了】					○	○	○	○	○	1件	70件	KK-050116-VG			
117	措置 （新工法・新材料）	伸縮装置	**プレスアドラー** 本技術は、橋梁の伸縮装置内における止水を目的とした乾式止水材で、伸縮装置内に圧縮挿入固定し、伸縮装置下に水を落とさない技術である。従来は弾性シール材で対応していた。本技術の活用により、橋面下施工・工期短縮・コスト削減等といった利点が見込める。 【掲載期間終了】					○	○	○	○	○	8件	47件	KK-020026-VG			
118	措置 （新工法・新材料）	仮設	**仮締切LPF工法** 本技術は、既設橋脚における仮締切の設置工法で、従来は潜水工による水中施工であったが、工程が長くコストが嵩み安全等の問題があった。しかし、本技術では水上で組立て水中に送り出す事が可能なため水中施工を軽減でき、工程・コストの低減・安全性確保が出来た。 【掲載期間終了】		○ H30				○	○	－	○		5件	CB-110010-VE			
119	措置 （新工法・新材料）	仮設	**NDR工法** 本技術は、鋼製締切り函体を用いた仮締切り工法であり、従来は水中作業や鋼管矢板などを用いた仮締切工法等で対応していた。本技術の活用により工程短縮、コスト縮減が図られる。 【掲載期間終了】		○ H26				○	○	○	○	1件	14件	KT-000080-VG			

120	措置 （新工法・新材料）	仮設	**仮橋仮桟橋斜張式架設工法** 本技術は上部工架設先行型による仮橋・仮桟橋工法で、従来は下部工先行型による仮橋・仮桟橋工法で対応していた。本技術の活用により、安全性、工期短縮、環境保全、経済性が期待できる。【掲載期間終了】		○ H28				○	○	○	○	7件	36件	KT-990222-VG			
121	措置 （新工法・新材料）	その他	**鉄筋損傷防止型防護柵** 橋梁の既設地覆を再利用して防護柵の取替えを行う際に、アンカー用削孔等で地覆鉄筋を損傷させる事無く設置可能な防護柵です。【掲載期間終了】					○	○	○	－	○		29件	QS-080003-VG			
122	措置 （新工法・新材料）	コンクリート 補修・補強	**ニュースパンガード** 本技術は、半透明のシラン系表面含浸材をローラーバケ、又は刷毛で1回塗布するだけで、コンクリート表面に緻密なシリコーンポリマー保護層を形成します。この保護層は、透水・吸水を防ぎ、鉄筋を保護し、コンクリートの劣化を抑制します。【掲載期間終了】					○	○	－	○	○	7件	41件	QS-100008-VR			
123	措置 （新工法・新材料）	コンクリート 補修・補強	**N-SSI工法** 飛来塩分や凍結防止材による塩害で劣化したコンクリート構造物に対する高防錆型断面修復工法である。材料は、「塩分吸着剤」を添加したポリマーセメント系で構成され、補修部位の劣化状況や塩化物イオン量に応じて材料を加減することにより、コストを縮減できる。【掲載期間終了】					○	○	○	○	○	24件	71件	KK-100009-VE			
124	措置 （新工法・新材料）	塗装	**循環式エコ クリーンブラスト工法** 本技術は、構造物全ての素地調整工における安全性・環境性・経済性に優れた技術であり、従来は動力工具やエアーブラスト工法で対応していた。研削材に金属系研削材を採用し、投射した研削材を再利用することで、産業廃棄物削減を図り、施工時間を短縮している。【掲載期間終了】					○	○	○	－	－		29件	CB-100047-VE			
125	措置 （新工法・新材料）	塗装	**バイオハクリX** 本技術は、橋梁等の鋼構造物の塗膜を除去するアルコール系塗膜はく離剤で、従来は塩素系(ジクロロメタン)の塗膜はく離剤で対応していた。本技術の活用により、軟化膨潤状態を長く保て、複層塗膜を湿潤シート状にはく離が可能となるため、施工性の向上が図れる。【掲載期間終了】					○	○	○	－	○	1件	4件	KT-140050-VE			
126	措置 （新工法・新材料）	塗装	**NKさび安定化防錆工法** 素地調整を3種ケレンとし、除去仕切れない錆に対して安定化処理を行い、耐候性と電気絶縁性に優れた無機系塗料を使用することで耐久性に優れた塗装システムとした。【掲載期間終了】					○	○	○	－	○	3件	27件	SK-100009-VR			
127	措置 （新工法・新材料）	耐震	**支承の若返り工法** 本技術は、既設鋼製支承に金属溶射することより長期間防食し、同時に潤滑性防錆剤を注入する技術である。従来は、重防食塗装(Rc-1塗装系)で対応してきた。本技術の活用により、鋼製支承の耐久性向上、およびライフサイクルコストの縮減が期待できる。【掲載期間終了】					○	△	○	○	○	34件	91件	HR-100013-VE			
128	措置 （新工法・新材料）	耐震	**超小型ゴム支承装置(UCB)** 本技術は、支承の高さを低く、かつ、部品数を削減したゴム支承で、従来は積層ゴム支承で対応していた。本技術の活用により、構造の簡素化と経済性の向上が期待できる。【掲載期間終了】			○ R1			○	○	－	○	4件	7件	KK-100022-VE			
129	措置 （新工法・新材料）	排水装置	**トータク簡易排水装置** 本技術は橋梁遊間部 簡易排水工法である。従来は伸縮装置非排水工(弾性シール材充てん工法)であった。本技術の活用により、漏水した雨水を充てん材で止水せず、集排水するように変えたことで、橋の伸縮・振動の影響を受けなくなり、製品の耐久性が向上する。【掲載期間終了】					○	○	○	○	○		7件	KT-100033-VE			
130	措置 （新工法・新材料）	その他	**ヒノダクタイルジョイントα** 本製品は、取替性・耐久性・走行安全性に優れたダクタイル鋳鉄製伸縮装置で、ボルト緊結構造により取替時に大掛かりな後打コンクリートの斫り撤去を行なわずに製品のみを取り替えることができるため、施工の省力化、並びに施工コストの低減が期待できる。【掲載期間終了】						○	ー	○	ー		2件	QS-150024-A			
131	措置 （新工法・新材料）	コンクリート 補修・補強	**超薄膜スケルトンはく落防災コーティング** 透明特殊コーティング材とガラス連続繊維シートの含浸接着による、透けて見えるコンクリート構造物のはく落防止機能付き表面保護工法(繊維シートを使用しない場合は小片はく落防止機能)。塗膜の超薄膜化によってコーティング材の使用量を抑え経済性の向上を果たした。【掲載期間終了】					○	○	○	○	○	5件	23件	CG-120025-VR			
132	措置 （新工法・新材料）	コンクリート 補修・補強	**ワンステップガード工法** 本技術は、特殊有機短繊維を混合したアクリル樹脂を塗布する方式のコンクリート片はく落防止対策工法で、従来は繊維シート接着工法で対応していた。本技術の活用により、シート接着工程が削減ができるので、工程の短縮、経済性の向上が図れる。【掲載期間終了】					○	○	○	－	－		10件	KT-120082-VR			
133	措置 （新工法・新材料）	コンクリート 補修・補強	**かため太郎** 本技術は、エポキシ樹脂スプレーによるコンクリート構造物の応急的補修材料で、従来はポリマーセメントはけ塗りで対応していた。本技術の活用により、従来技術の練混ぜやはけ塗りが不要なので、労務費減少と施工具経費がなくなることで経済性の向上が期待できる。【掲載期間終了】					○	○	○	○	○	1件	5件	KT-120036-VE			
134	措置 （新工法・新材料）	コンクリート 補修・補強	**ハイブリッド形表面被覆材アロンブルコートZ-X、Z-Y工法** 従来主流のコンクリート表面保護工は、エポキシ樹脂系材料であるが紫外線劣化により割れ剥がれが多く発生している。本工法は、コスト縮減・工程短縮・品質向上・施工性等に着目し開発した材料(セメント系無機質硬化材を主とし、アクリルゴムを混合)を用いる新工法である。【掲載期間終了】					○	○	○	○	○		13件	CB-120013-VR			
135	措置 （新工法・新材料）	コンクリート 補修・補強	**浸透性吸水防止材「レジソークType1」** コンクリート表層部の組織を改質することで撥水効果が得られる。同時に表面からの水分、塩分等の浸入を防ぐことで、コンクリート構造物の塩害、凍害、中性化などによる劣化進行を抑制する。また、簡便な施工であり維持管理コストの低減が期待できる。【掲載期間終了】					○	○	○	○	○		9件	CG-120004-VR			
136	措置 （新工法・新材料）	コンクリート 補修・補強	**リポテックスシリーズ** 本技術は皮膜成分を散布する湿潤養生剤で、従来はコンクリート養生マットで対応していた。本技術の活用により、散水やマット敷設等の作業が不要となり労務費の低減が図れるため、経済性が向上する。【掲載期間終了】					○	○	○	－	○		28件	KT-120081-VE			
137	措置 （新工法・新材料）	耐震	**パワーダンパー** 本技術は地震力を低減させるシリンダ型粘性ダンパーです。本技術の活用により、橋脚基礎の補強を省略するとともに、橋脚の補強量を低減させることが可能となり、経済性が向上し、工程を短縮することができます。【掲載期間終了】					○	○	○	－	○		6件	TH-120010-VE			
138	措置 （新工法・新材料）	耐震	**コンパクト ストッパー（KCS）** 水平2方向及び上向き(上揚力)の地震力に抵抗する緩衝ゴム付き変位制限装置で、従来は鋼製ブラケットによる変位制限装置により対応していた。本技術の活用により、上向き地震力に抵抗可能な構造としたことにより、地震時における品質の向上となる。【掲載期間終了】					○	○	○	○	○		8件	KT-120008-VE			
139	措置 （新工法・新材料）	鋼構造物 補修・補強	**鋼構造物溶接止端部の疲労強度向上工法** 鋼構造物の溶接継手部を強化する技術で、従来は溶接継手部の止端部をグラインダー仕上げで対応していた。本技術の活用により、溶接継手部が強化され鋼構造物の耐久性を向上させると共に、工期の短縮、作業者の作業負荷軽減が期待できる。【掲載期間終了】					○	△	○	○	○	2件	31件	CB-120011-VE			
140	措置 （新工法・新材料）	仮設	**プレストレスデッキ 1.0m×4.0m** 鋼板プレストレス強化工法によって、従来2.0mであった覆工板と同程度の厚さと単位重量で4.0mへ長スパン化した製品。 覆工板の長スパン化により、施工性の向上と、工期短縮、コスト縮減が期待できる。【掲載期間終了】					○	○	○	○	○	1件	7件	KK-120033-VR			